

アジア青年国際交流事業
～ Asian Beat Fes 2017 ～

事業計画書

茨城県日中友好協会
青年委員会 委員長
五十嵐 則夫

事業実施に至るまでの経過

これまで政治情勢の不安定な北東アジアに向けて愛と平和を唱えるのみでなく、「次世代を担う子ども達が憎しみ合うことが無い世界を築いていくべき」との見地から、2010年から2014年まで計5回に渡りアジア青少年音楽交流事業を実施し音楽交流による一定の活動の成果を得ることができました。

2015年より、日本（茨城県）、中国（北京市）、韓国（仁川広域市）の三ヶ国三地域を中心とした、より身近でより参加し易く、すそ野の広い分野へと交流の内容を移していくことで、更なる発展の形態を考えていく必要性を求め事業計画の見直しが行われました。その協議の結果から、今後は芸術全体を踏まえた上で、よりアーティスティックな分野での事業に移行していく方向性のもと、これまでの音楽交流に加えて、若者を中心に人気を集めているダンスも含めた内容で国際交流事業を実施することが決定づけられました。

交流対象年齢についても三ヶ国協議の中で、これまでのように高校生のみを対象に限定するのではなく、16歳から24歳までと年齢幅を持たせることになりました。それは今後の交流内容が、ダンス・音楽等の芸術的な分野で行うことを考えると、青年層もより幅の広い、相互理解がし易い年齢層を対象にしていかななくてはならないためであります。また今後の目指すべき発展形態として、三ヶ国のみならず他のアジア圏内の他の国々とも、交流範囲を広げることも視野に検討していきたいとの方向性も示されております。

事業目的

本事業は、国際的なダンス・音楽の祭典を開催するものであり、アジア圏内の三ヶ国三地域を中心に国民感情の改善と次代を担う若者たちの相互理解の進展を願い、地域間国際交流を推進することにより、青少年の健全育成と国際交流を内外へと発信していくことですそ野の広い交流を実現することを目的に開催する。

事業概要

1. 日時

2017年7月28日（金）～7月31日（月）（3泊4日）
上記、開催期間とする

2. 会場

韓国 仁川市 仁川グローバルキャンパス

宿泊先（青少年）

仁川市 仁川グローバルキャンパス内 宿泊施設（2泊）（1部屋2人）

〃 野外キャンプ施設（1泊）（1テント8～10人）

＊施設は管理者が常駐、周囲フェンスがある安全性の高い施設

宿泊先（御来賓）

仁川市内ホテル（3泊）

3. 対象

日本、韓国、中国の青年による国際交流
（※青年：2015年より対象年齢16～24歳と定義）

4. 人数

三ヶ国合計

・来賓	20名
・関係スタッフ	40名(通訳1名含)
・アマチュアバンド	4チーム(40名保護者含)
・ダンスグループ	6チーム(60名保護者含)
・プロアーティスト	1チーム(10名程度)
・青年ボランティア	20名
合計	190名

日本側、中国側(内訳)

- ・来賓 各国5名程度
 - ・関係スタッフ 各国10名(通訳含)
 - ・青年ボランティア 各国6名程度
 - ・出演者
 - *アマチュアバンド、ダンスグループの中から各国3チーム選出
 - [アマチュアバンドの場合(1チーム5名)]
 - [ダンスグループの場合(1チーム10名程度)]
- 以上、各国45名程度を想定

韓国(ホスト国)側(内訳)

- | | |
|-----------|-------------------|
| ・来賓 | 8名 |
| ・関係スタッフ | 20名(通訳含) |
| ・青年ボランティア | 20名 |
| ・出演者 | 1チーム(5~10名)×3グループ |
| ・プロアーティスト | 1チーム |
| 合計 | 約100名 |
- *今回、ゲスト国としてタイ1グループ(10名)が出演予定

5. 観客数

2000名程度(予定)

6. 移動

飛行機は成田国際空港~仁川国際空港を使用
韓国内での移動は、大型バスを用意(ホスト国負担)

7. 費用負担

日本青年ボランティア参加者 1名20000円(自己負担額)
往復旅費及び宿泊費、移動費を含む

8. 開催スケジュール

- 7月28日(金) 13時頃 入国予定
・希望者は仁川空港にてマネーチェンジ
17時より
・国際交流晚餐会、来賓晚餐会 仁川観光公社主催
場所) オラカイソンドパークホテル予定
各国代表者ご挨拶
司会者 各国青年(韓中日の順:以降同様)
音楽公演有、出演者紹介、青年アトラクション各国2つ
- 7月29日(土) 9時 リハーサル
場所) 仁川グローバルキャンパス大ホール
各国ブース設営(1階ホール)
12時 昼食
・来賓昼食会(来賓関係者) 仁川市長主催
場所) 仁川市内ホテル
・青年 弁当宅配
場所) 仁川グローバルキャンパス内
13時
・アジア青年国際交流事業 開会
韓国5グループ、中国3グループ、日本3グループ
ゲストタイ1グループ
*1グループ公演時間 15分以内
場所) 仁川グローバルキャンパス 大ホール
・各国PRブース開始
場所) 仁川グローバルキャンパス 1階ホール
17時 閉会
19時 青年 夕食
来賓 食事会
- 7月30日(日) 青年国際交流会
9時
・キャンプ場へ移動
10時
・K-POPダンス体験 韓国K-POP講師による指導
12時 昼食
13時 音楽芸術公演観覧
15時 仁川市内 ショッピング
16時 バーベキュー交流会 開始
・アトラクション 各国2つ
19時 バーベキュー 閉会
別途、来賓 夕食会
- 7月31日(月) 仁川市内観光
場所) ロッテワールド、エバーランド等
17時 各国 帰国

9. 移動（国際航空）

日本）成田 ～ 仁川国際空港間往復

- ・7月28日 便 発 → 着/仁川
- ・7月31日 便 発 → 着/成田

中国）北京 or 上海 ～ 仁川国際空港間往復

- ・7月28日 便 : 発 → : 着
- ・7月31日 便 : 発 → : 着

*国内での移動は、日立駅～成田空港の往復とする

*23日は6時頃の日立駅発、31日は19時頃の成田空港発を予定

*国外の移動は、各国ごとにバス2台を用意（ホスト国側負担）

10. 実施組織

主 催： 仁川広域市（韓国側）

茨城県日中友好協会（日本側）

中国国際青年交流センター、北京青年報、全国社会芸術教育機構
（中国側）

主 管： 仁川広域市観光公社（韓国側）

後 援： 駐韓国日本大使館、駐韓国中国大使館、

（予 定） 独立行政法人国際交流基金、茨城県、北京市、日立市、
茨城県教育委員会、公益財団法人茨城県国際交流協会、
茨城県経営者協会、茨城県商工会連合会、茨城県商工会議所連合会、
茨城県中小企業団体中央会、公益財団法人日立市民科学文化財団、
茨城県日韓親善協会、久慈町漁業協同組合、日本放送協会水戸放送局、
茨城新聞社、茨城放送、NPO 法人国際事業推進機構

協 力： 県内外の企業他団体を予定

11. 広報

茨城県の情報発信ネットワークを活用して積極的に広報する。

- ・各メディアへの資料提供
- ・いばキラTV、SNS等の活用
- ・民間企業との包括連携協定を活用したPR
- ・県内高校及び他県の参加学校への周知活動
- ・IBS茨城放送でPR
- ・新聞、タウン誌等でPR
- ・NHK、新聞等による取材

1 2. 年間スケジュール

2016年

- 10月 各国事前調整（各国との事前調整を行い内容協議と意見交換会）
- 11月 交流事業内容研修会（16年度記録映像の鑑賞と意見交換会）

2017年

- 2月 交流事業内容研修会
- 4月 3カ国実務者協議 事業開催事前準備会
- 5月 各国の来賓者へ「インビテーションカード」を送付
- 5月 事前研修会（5月20日 PM2時～5時）日立シビックセンター704
事業説明、スケジュール説明、参加者LINE登録
各後援名義申請、広報等協賛金集金
- 6月 事前研修会（6月3日 PM2時～5時）日立シビックセンター704
事業説明、スケジュール説明、ボランティアリーダー決定
アトラクション協議、語学研修、パスポートコピー提出
事前研修会（6月24日 PM2時～5時）日立シビックセンター503
パンフレット作成、アトラクション決定・練習、語学研修、
担当役割決定、「委嘱状」配布、父母の同意書提出
詳細マニュアル等作成開始
資料提出（6月10日〆切）
バンド or グループリスト、使用機材リスト、
パンフレット用グループ写真及び紹介文、
スタッフリスト（パスポートNo）
- 7月 事前研修会（7月8日 PM2時～5時）日立シビックセンター503
アトラクション練習、語学研修、
バス乗車リスト&バス運行スケジュール（日立市市民活動課）
事前研修会（7月22日 PM2時～5時）日立シビックセンター703、704
詳細マニュアル等配布、アトラクション練習、語学研修
事業開催日（7月28日～31日）
- 9月 事後反省会（9月30日 PM2時～5時）日立シビックセンター704
国際交流体験者に事後の感想文提出及び発表
- 11月 国際交流事業リーダーシップ研修会
今後のアジア国際交流の在り方について検証する勉強会
（17年度記録映像の鑑賞と意見交換）

2018年

- 2月 国際交流事業リーダーシップ研修会
2018年アジア青年国際交流事業に向けた研修会

※ 注釈

- ・各国来賓出席予定者
日本側) 茨城県知事 or 副知事、茨城県日中友好協会理事長
中国側) 全青連、北京青年報、全国社会芸術教育機構
韓国側) 仁川市長、仁川副市長、その他) 駐韓国日本大使館 駐韓国中国大使
- ・事業予算の編成として大きな支出が見込まれるものは
渡航費、会食費、パンフレット作成費、記録費等
別紙 予算書添付
- ・参加者持参品
着替え・下着類、タオル（大小3枚）、サンダル、スリッパ、洗面用具、常用薬等、